

2006 年 3 月 30 日

各 位

株式会社みずほ銀行
トレンドマイクロ株式会社

みずほ銀行とトレンドマイクロが インターネットバンキングのセキュリティ強化において連携

～スパイウェア対策ソフト・ウイルス対策ソフト（期間限定版）の無償提供を開始～

株式会社みずほ銀行（頭取：杉山清次）は、みずほダイレクトをご利用のお客さまのパソコン環境におけるセキュリティ強化に関して、トレンドマイクロ株式会社（代表取締役社長 兼 CEO：エバ・チェン）と連携して推進することとし、その一環として、以下の施策を実施します。

1. スパイウェア対策ソフト・ウイルス対策ソフト（期間限定版）無償提供

みずほ銀行は、本年 4 月 3 日（月）から、みずほダイレクトをご利用のお客さまを対象として、トレンドマイクロのスパイウェア対策専用ソフト「スパイバスター2006」並びに総合セキュリティソフト「ウイルスバスター2006」の期間限定版（※）を収録した CD-ROM を店頭などにて無償提供いたします。

スパイウェア対策、ウイルス対策をはじめとする総合セキュリティ対策をお客さまのパソコン環境において実施いただくための一つの足がかりとしていただきたいと存じます。

なお、「ウイルスバスター2006」は、最近、Winny を悪用して感染を広め、社会問題化している情報漏洩型ウイルス「Antinny」にも対応しています。

- （※）
- ・ 「スパイバスター2006」は 30 日間、「ウイルスバスター2006」は 90 日間無料でご利用いただけます。
 - ・ 「スパイバスター2006」「ウイルスバスター2006」とも試用期間終了後、継続してご利用いただくためには、トレンドマイクロ株式会社より製品版シリアル番号を購入いただき、製品版へアップグレード（有料）していただく必要がございます。
 - ・ 「スパイバスター2006」「ウイルスバスター2006」に関する具体的な機能などについては別紙を参照ください。「スパイバスター2006」は 4 月中旬からの配布とさせていただきます。
 - ・ CD-ROM には、数に限りがございますのであらかじめご了承ください。
 - ・ 期間限定版はサポート対象外となっておりますのであらかじめご了承ください。

2. インターネットセキュリティに関する啓発サイトの共同運用開始

みずほ銀行では、本年 4 月上旬から、インターネットセキュリティに関する最新情報提供などを目的として、みずほ銀行ホームページからトレンドマイクロが運営しているインターネット セキュリティ情報サイト「インターネット セキュリティ ナレッジ」へのリンクを可能といたします。これにより、みずほ銀行のお客さまは、最新のインターネットセキュリティに関する情報（ウイルス情報・インターネット犯罪情報など）へ容易にアクセス可能となります。

みずほ銀行は、今後ともお客さまがフィッシング詐欺をはじめとする危険に遭遇する可能性を減減させるための対策など、インターネットバンキング取引に関するセキュリティ強化に取り組んで参ります。

【みずほダイレクト[インターネットバンキング]に関するセキュリティ強化への主な取組み】

- ・ SSL128bit にて、取引電文は暗号化いたしております。
- ・ 登録振込先以外への 1 日あたり振込限度額は、お客さま任意に設定可能です。
- ・ 不正払出被害にあわれたお客さまに対しては、以下の保険を用意いたしております。
みずほダイレクトご利用の全てのお客さま・・・年間 50 万円まで
みずほマイレージクラブ会員で一定のお取引条件を満たすお客さま
・・・年間 100 万円まで（キャッシュカード保険と合算で年間最大 100 万円までとなります）

2005 年 8 月

ログインパスワードを入力する際に、ソフトウェアキーボードをご利用可能といたしました。
振込取引等に利用する第 2 暗証番号を取引の都度、当行が指定させていただく方式へ変更しました。

2006 年 1 月

ログインパスワードを最大 32 桁まで設定することを可能とし、パスフレーズなどお客さまが忘れにくく、かつ、他人に推測されにくいログインパスワードを設定しやすくいたしました。

2006 年 4 月

トレンドマイクロ株式会社と共同で、「スパイバスター2006」「ウイルスバスター2006」期間限定版をみずほダイレクトご利用のお客さまへ無償提供を実施いたします。
また、トレンドマイクロ株式会社ホームページ上のインターネットセキュリティ啓発サイトへのリンクにより、最新のインターネットセキュリティ情報へのアクセスの容易性を向上させます。

以下は、トレンドマイクロ株式会社からのご案内のページとなります。

【スパイバスター2006・ウイルスバスター2006 の機能一覧】

スパイバスター2006

スパイウェア対策専用のセキュリティソフトで、スパイウェアが関係した不正振込み事件などの被害からユーザを守ります。

- スパイウェア対策：コンピュータ内に潜むスパイウェアの検索／検出を行います。
- リアルタイム監視：コンピュータシステムをリアルタイムで監視し、スパイウェアによる改変が疑われる設定変更を検出し、通知します。
- 履歴情報管理：コンピュータ内に蓄積される様々な履歴情報を容易に削除できるようになります。
- 復元機能：必要なファイルを誤って削除してしまった場合など、削除したプログラムや設定を復元可能です。
- CoolWebSerach 専用対策ツール：悪質なスパイウェアの一種「CoolWebSerach」の専用駆除ツールです。

ウイルスバスター2006

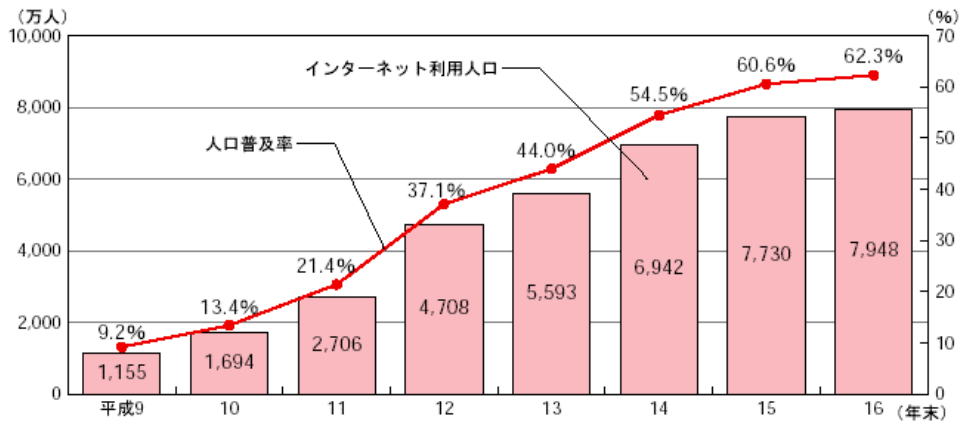
インターネット版の「振り込め詐欺」とも言われる「フィッシング詐欺」対策機能を大幅に強化しました。また、直感的な操作が可能なユーザインタフェースにより、初心者の方でも簡単に使用することができます。

- フィッシング詐欺対策：フィッシング詐欺にあっていないかどうかを常に監視するツールバーをはじめ、フィッシング詐欺から大切な情報を守ります。
- 総合ウイルス対策：ウイルス、トロイの木馬、ワームなどの検索／検出／削除を行います。
- スパイウェア対策：スパイウェアの検索／検出を行います。
- 迷惑メール対策：迷惑／詐欺メールを独自の基準で判定し、明示的に迷惑／詐欺メールの区別を可能にします。
- 不正アクセス対策：ネットワークからの不正侵入や攻撃をブロックします。
- 個人情報漏洩防止：クレジットカード番号、パスワードなど個人情報が盗まれないよう監視します。
- 有害サイトのアクセス規制：有害サイトへのアクセスをブロックします。

【日本のインターネット利用状況】

1. インターネット利用人口及び人口普及率 【出典】平成17年度情報通信白書（総務省）

図表① インターネット利用人口及び人口普及率

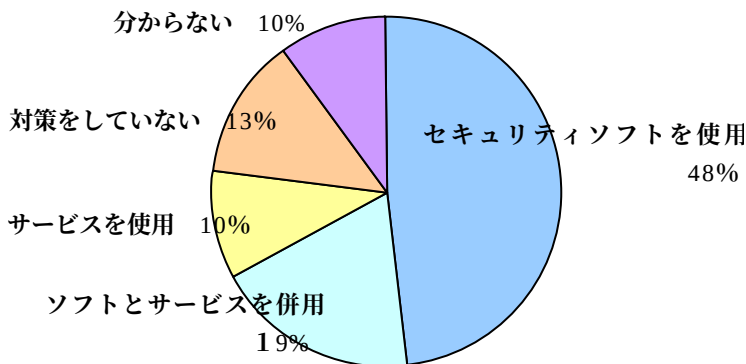


- ※1 上記のインターネット利用人口は、パソコン、携帯電話・PHS・携帯情報端末、ゲーム機・TV機器等のうち、1つ以上の機器から利用している6歳以上の者が対象
 ※2 平成16年末の我が国の人口普及率(62.3%)は、本調査で推計したインターネット利用人口7,948万人を、平成16年10月の全人口推計値1億2,764万人（国立社会保障・人口問題研究所『我が国の将来人口推計(中位推計)』）で除したものの（全人口に対するインターネット利用人口の比率）
 ※3 平成9～12年末までの数値は「情報通信白書(平成12年までは通信白書)」より抜粋。平成13～16年末の数値は、通信利用動向調査の推計値
 ※4 推計においては、高齢者及び小中学生の利用増を踏まえ、対象年齢を年々拡げており、平成12年末以前の推計結果については厳密に比較出来ない(平成11年末までは15～69歳、平成12年末は15～79歳、平成13年末から6歳以上)

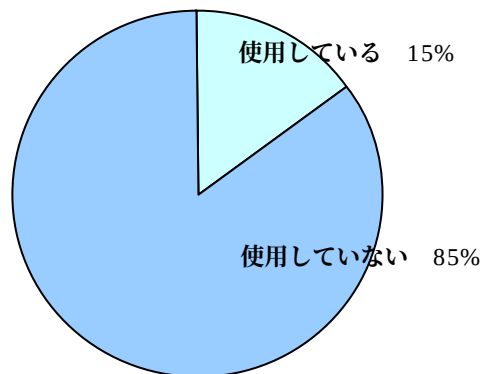
2. セキュリティソフト／スパイウェア対策ソフトの利用率

【出典】「スパイウェアについての調査（2005年12月）」（トレンドマイクロ）

セキュリティソフトの利用率



スパイウェアソフトの利用率



3. インターネットバンキングにおいてユーザが感じる脅威

【出典】「スパイウェアについての調査（2005年12月）」（トレンドマイクロ）

パスワードが盗まれてしまう	78%
勝手にお金をひきだされてしまうかもしれない	74%
個人情報をもれてしまうかもしれない	71%

【ご参考】

2006年2月の警察庁の発表によると、2005年度における不正アクセス行為の動機として「不正に金を得るため」が上位に入っており、昨年度から急増しています。このことからわかるように、不正プログラムの作者は金銭などの具体的な搾取を狙う方向に変化してきており、インターネットユーザは、インターネットを利用する上で、不正なプログラムの被害に遭わないようにするため、適切な対策を施すことが必要となってきました。

以 上